

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育センターきらキッズⅡ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・同学年のグループや近い学年のグループで療育が組まれていること。 ・学校休業日中は、学年間の交流もできるようにグループを組み、活動内容も子どもたちの興味ある活動になるように工夫していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの年齢や発達課題に合った活動を組み、同年代の仲間として楽しめるようにしている。 ・学校休業日中は、公共交通機関を利用して県内の施設(動物園や科学館等)に出かけ、普段の療育とは違う経験ができるようにしている。その際は、異年齢との交流もでき、協力し合う姿も見られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが主体的に活動を進めていけるように、内容について子どもと共に活動を組み立てていくようにする。 ・地域資源について職員間で研修を深め、子どもたちが楽しめる遊びや体験の機会を作っていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースが十分に確保されており、設備も充実していること。 ・それにより、学習や活動の前後に、大きく身体を使った遊びや揺れ具などの遊具を使った遊びなどもできること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の他事業所での取り組みや、外部研修などから子どもたちの発達課題に応じた遊びや活動を設定し、より楽しく参加できるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内での事例検討会を含め、それぞれの事業所での実践報告等、療育の質を高めるための情報共有をすること。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・教員、臨床心理士、公認心理師、作業療法士、療育経験の豊富な児童指導員と多職種の職員で療育を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員それぞれの専門性を活かした療育を提供している。 ・毎回療育後に話し合いの時間を持って、療育内容やお子さんの反応、保護者からの相談内容について共有し、療育の課題について検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多職種の職員が色々な視点からの意見を出し合い、療育が提供できるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士、きょうだい児同士の交流の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族そろって参観する機会はあるが、交流の場となるような時間と場所の設定ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の行事への参加を呼びかけ、その中で保護者やきょうだい児が交流を持てる時間や内容を考えていく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方への情報提供不足。 ・特に防災等の訓練、各種マニュアル等の周知が全ての利用者に届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板での報告だけでは見ていない保護者も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板で報告するだけでなく、ホームページや連絡アプリを活用して確実に情報提供をしていく。 ・支援計画などの説明時に、保護者の方に周知をしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		子ども療育センターきらキッズⅡ				公表日		2026年3月27日			
		利用児童数				45人(2026年3月18日現在)		回収数		35	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	2	0	0		・活動のために十分な広さの部屋を用意していますが、子どもの動きをよく見て、危険の無いように活動内容を組み立てています			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	2	0	0					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	2	0	1		・洗面所、トイレへの入り口が一段下がっているので注意を呼び掛ける掲示をしています			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	1	0	0					
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	0	0	0					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	0	2					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1	0	0					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	2	0	2		・個別支援計画に基づいて、具体的な支援内容を日々のフィードバックを通じて丁寧に説明していきます			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	2	0	0					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	2	1	1	・お出かけが多いので、学習をする時間も助かります（長期休みの時）	・子どもたちが楽しんで参加できるように、活動内容を考えています。個々の希望に合わせて内容や時間配分を考えて行きます。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	5	8	9					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	2	0	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	1	0	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	3	2	2	・研修会や講義が平日にあるので仕事でなかなか参加が難しい	・休日に行っている研修会や講演会の案内もさらに掲示して、多くの方に参加していただけるようにします。			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	33	2	0	0					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1	0	0					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	2	0	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	5	3	5		・参観日の際に、保護者の方向士が交流できる時間を設けていきます。 ・「中学校からの進路を考える座談会」を開催して、先輩保護者の方のお話を聞く機会を設けていきます。			
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	3	1	3		・お子さんや家族の方からの相談があった時には随時時間と場所を設けるようにしています。			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	3	0	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	3	1	5		・自己評価の結果について、掲示板等でお知らせしていきます			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	1	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	0	0	5		・各マニュアルは、保護者が見やすい場所に置きます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	0	0	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	0	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2	0	4		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	5	0	1		・今後も子どもたちに会った活動内容を考え、楽しみに通所してもらえるように努めます
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	0	0	0	・自転車に乗れるように教えて欲しい	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども療育センターきらキッズⅡ				公表日		2026年3月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・月曜日は4人配置にして下さって助かっています	・日々の子どもたちの状態に合わせて、個別対応などもできるように職員配置を考えていきたい			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		・第三者評価は行っていない			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・法人内研修の開催、外部の研修については職員全員に周知している				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		・支援に関わる職員が参加できる日程を早めに調整して会議を行っていきたい			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		・支援に関わる職員が参加できる日程を早めに調整して会議を行っていきたい			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・ 毎回療育後に話し合いの時間をもち、支援内容やお子さんの反応、保護者からの相談内容について共有するようにしている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		・ 地域交流については、法人全体で検討していく
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	・ 担当職員が参加している	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・ 法人で「子育て応援セミナー」を実施している	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・ 前期後期に一度ずつ個別の懇談会を実施している	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	・ 参観日や法人イベントで家族が交流できる場を設けている ・ 法人全体では、中学校からの進路を考える座談会や保護者向けの研修会を開催している	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		・地域住民を招待する行事は行っていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・保護者からの情報を職員間で共有している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・食物アレルギーのあるお子さんについては、年度初めに保護者から詳しく聞き取っている	・調理をする機会も多いので、毎回職員同士で確認して事故防止に努めていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・法人内の他事業所ともヒヤリハットを共有し再発防止に向けた対策をしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・「身体拘束」に関する研修は、毎年全職員に行っており、委員会では、必要な身体拘束について話し合っている	